

山形県「老舗企業」分析調査（2024 年）

業歴 100 年以上の「老舗企業」921 社、
老舗出現率は 5.34%

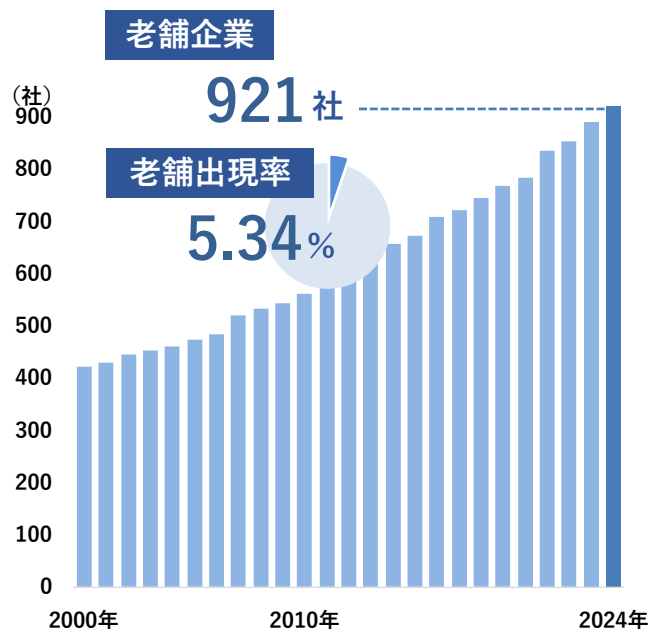
～ 業種別では「旅館」がトップ～

長い業歴のなかで、変化を恐れず「進取の気性」を持つことで多くの災害や需要の変化などを乗り越えてきた老舗企業。国内の多くを占めているファミリービジネスや質素・儉約などを記した家訓に代表される商業精神など、日本ならではの老舗の姿は経営の教科書的存在として取り上げられることが多く、商売繁盛に向けての模範として扱われている。一方で、全国では老舗企業の倒産が目立っている。「老舗＝安泰」のイメージが崩れかけており、本業の事業性評価が問われるなど老舗企業の底力が試されている。

2024 年 9 月時点で、業歴 100 年以上を有する山形県内の老舗企業は 921 社にの

ぼる。関東大震災が発災した翌年の 1924 年に創業してから長く事業を続け、今年老舗企業の仲間入りを果たした企業は、山形県で約 30 社を数えた。また、山形県における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は 5.34%で全国平均の 2.75%を大きく上回った。

老舗企業数 推移



調査結果（要旨）

- 2024 年 9 月時点における山形県内の老舗企業数は 921 社。老舗出現率は 5.34%だった。
- 都道府県別では、出現率は京都府が 5.35%でトップとなり、**山形県(5.34%)**、新潟県(5.02%)が続く。
- 業種別では旅館が最も多く、次いで清酒製造業、菓子小売業が続く。
- 売上高別では 58.2%が「1 億円未満」で、多くが小規模業者となる。
- 2025 年には県内で約 10 社が 100 周年を迎えると見込まれる。老舗企業数は頭打ち感も。

- 帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」（2024 年 9 月時点、約 147 万社収録）に加え、独自で収集し営業の実体が確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年を超えている企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った
- 創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した

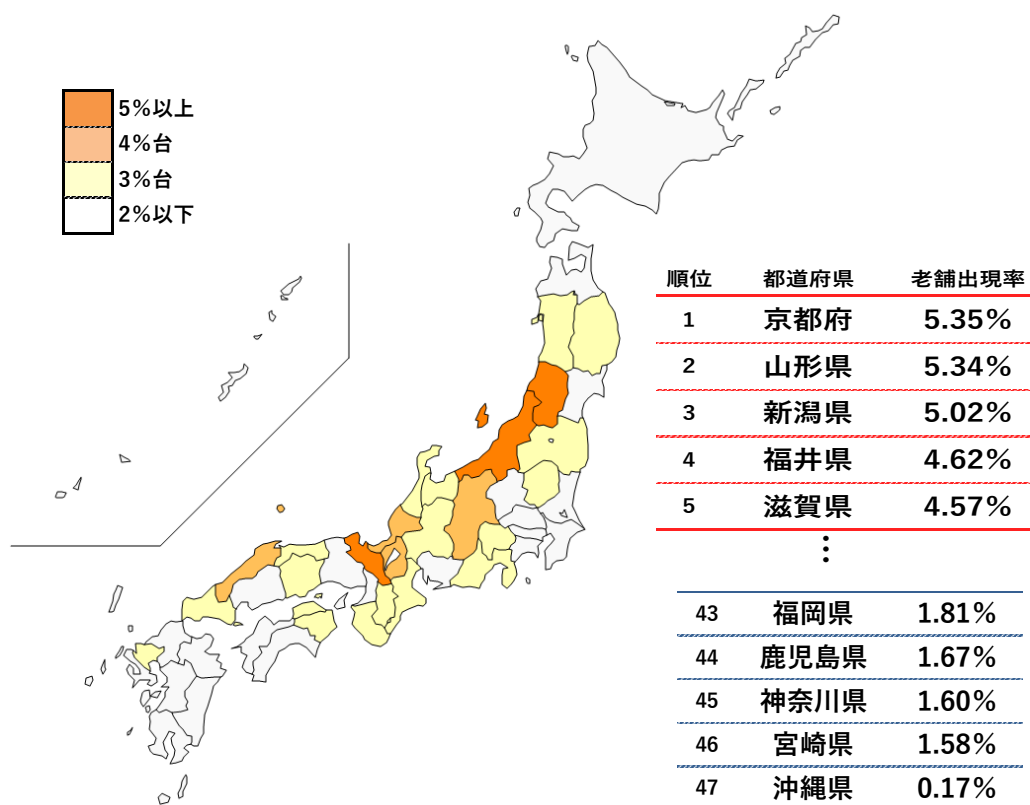
1. 老舗出現率は山形県が2位、5%超が続く

2024 年中に業歴 100 年となる企業を含めた老舗企業は、山形県内で 921 社判明し、老舗企業の全体に占める割合（老舗出現率）は 5.34% となった。これは、古くからの日本文化の中心地で伝統産業が多く残る京都府（5.35%）に次ぐもので、全国 2 位となる。京都府とは 0.01 ポイントの僅差となった。

全国でみると、新潟県（5.02%）や福井県（4.62%）、滋賀県（4.57%）と続き、日本海側の地域で老舗出現率が高い傾向が見られる。これらの地域では、江戸時代中期から明治時代にかけて海運の要として北海道から大阪を結んでいた「北前船」の寄港地が多いことから、古くから商業の拠点となっていた歴史的背景によるものと考えられる。

一方で、沖縄県は 0.17% と全国で最も低かった。沖縄県は琉球王国としての歴史や、第二次世界大戦の戦闘が最も激しかった地域の一つであり、壊滅的な人的・物的損害を受けたことなどで連続性が途絶えたりした影響が、こうした結果につながっていると考えられる。

老舗出現率 都道府県別



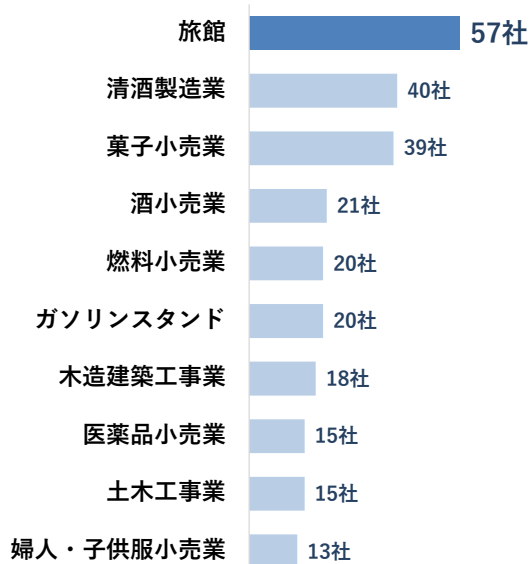
2. 業種別では旅館がトップ

業種別でみると、旅館が 57 社でトップだった。山形県は蔵王連峰、吾妻連峰、鳥海山といった火山群に周囲を囲まれ、古くは平安時代から続く温泉が各市町村に存在しており、湯守から温泉旅館となった企業も見られる。

江戸時代までは酒田港を起点とした最上川水運も盛んで、最上川沿いには交易品である紅花や米を収蔵した蔵が多く存在して、明治期に経済の主軸が米から西洋型の貨幣に切り替わった際に、蔵を転用した酒蔵が多く創業された。いち早く「レギュラー酒」から「吟醸酒」など高級酒への切り替えが業界全体で行われてきたこともあって、清酒製造業が 40 社で 2 位となった。

3 位は清酒製造業と 1 社の差で菓子小売業（39 社）が続いた。山形県では城下町や最上川水運の船着き場周辺に、古くから、お茶と同じように甘味を薬として提供する商家が見られた。近世に入ると、庶民も味わえる地域に根ざした菓子も開発されており、地域ごとの銘品を現在に伝える菓子店も多い。

老舗企業数 上位 10 業種

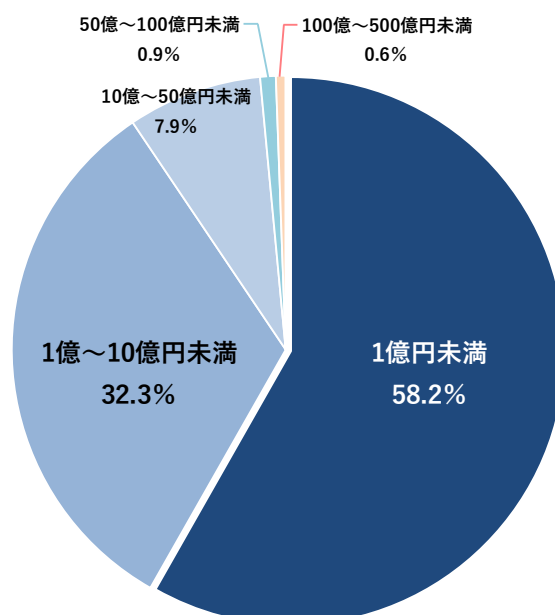


3. 売上高別 58.2%が「1 億円未満」

売上高別でみると、「1 億円未満」が 58.2%と 6 割近くにのぼった。売上高が判明している老舗企業のうち、多くが小規模事業者であることが明らかとなった。

また、売上高 10 億円以上の割合は、合計で 9.4%にとどまり、規模が大きいほど少なくなる傾向が示された。

老舗企業 売上高構成比



4. 主な老舗企業

山形県 主な老舗企業

企業コード	商号	所在地	創業年（西暦）	主業名
170013286	伊藤鉄工株式会社	鶴岡市	1189	圧力・流量計等製造
395053142	有限会社榊形屋	米沢市	1533	旅館・ホテル
160127327	株式会社とみひろ	山形市	1578	呉服・服地小売
160000300	株式会社ふじや富宏商事	山形市	1578	織物卸
160038325	株式会社菊地保寿堂	山形市	1604	鋳鉄鋳物製造

最古の企業は、圧力・流量計等製造の「伊藤鉄工」（鶴岡市）で、1189 年（文治 5 年、鎌倉時代初期）に神社仏閣向け鋳物師として創業、業歴は 830 年以上に及ぶ。吾妻山中の秘湯である姥湯温泉で旅館を営む「榊形屋」（米沢市）は、室町時代の 1533 年（天文 2 年）の開湯という。2 社ともに、長寿企業として長い歴史を現在につないできた。

また、2024 年に 100 年の歴史を紡ぎ老舗となった企業には、山形県を代表する菓子メーカーとして知られる「でん六」（山形市）や、庄内地域で建設資材を扱う「阿部多」（鶴岡市）などが挙げられる。

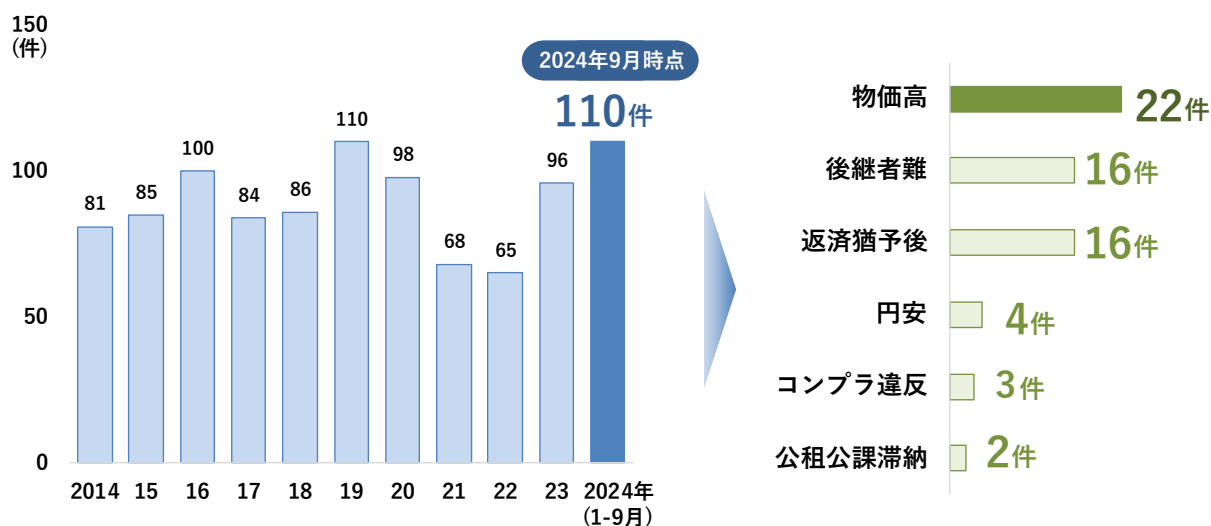
<まとめ> 全国的には「老舗企業」の倒産が増加。山形県で 2025 年に 100 周年を迎える企業は減少

業歴 100 年を上回る世界の企業のうち半数以上を日本が占めているとの調査結果もあるなど、国内約 4 万 5000 社を数える「ニッポンの老舗」は、世界に誇る日本の魅力として語られることが多い。実際に、清酒製造など醸造系や呉服関連を代表とした日本の伝統文化を彩る産業が、数多く老舗として今なお事業を継続している。

また、国内の老舗企業特有の傾向として、長年にわたって蓄積された資産による財務の収益性・安定性を強みとして持つ企業も多い。山形県でも、一定の規模や知名度を有している老舗企業では、財務面に強さを持つ企業も少なくない。

一方で、2024 年 9 月時点における全国の老舗企業の倒産は 110 件を数え、既に過去 10 年間で最も多かった 2019 年に並び高水準で推移している。山形県の老舗企業の倒産は 2024 年 9 月まではゼロであったが、10 月に入り 1 件の倒産が見られた。また、山形県における老舗企業の 58.2% が売上高「1 億円未満」の小規模業者で占められ、財務体質面を含めた企業としての体力や後継者問題などを抱えている先も増えていると見られ、倒産には至らずとも廃業などが増加する可能性が高まっている。なお、2025 年に 100 周年を迎える県内企業は、現状では約 10 社と見込まれる。これは前年の 3 分の 1 にとどまるもので、戦後に創業・設立された企業群が 100 周年を迎えるまで、老舗企業数は一旦落ち着く可能性もある。

全国の老舗倒産 年間推移/倒産要因別



【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 山形支店 担当：佐藤 剛喜

TEL 023-622-4301 FAX 023-622-4415

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。